いわみざわ市
# 緑の相談コーナーだより

室内公園 色彩館 SHIKISAIKAN
岩見沢市志文町794
No.437
2021年 11月 1日発行

いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

## シュウメイギク

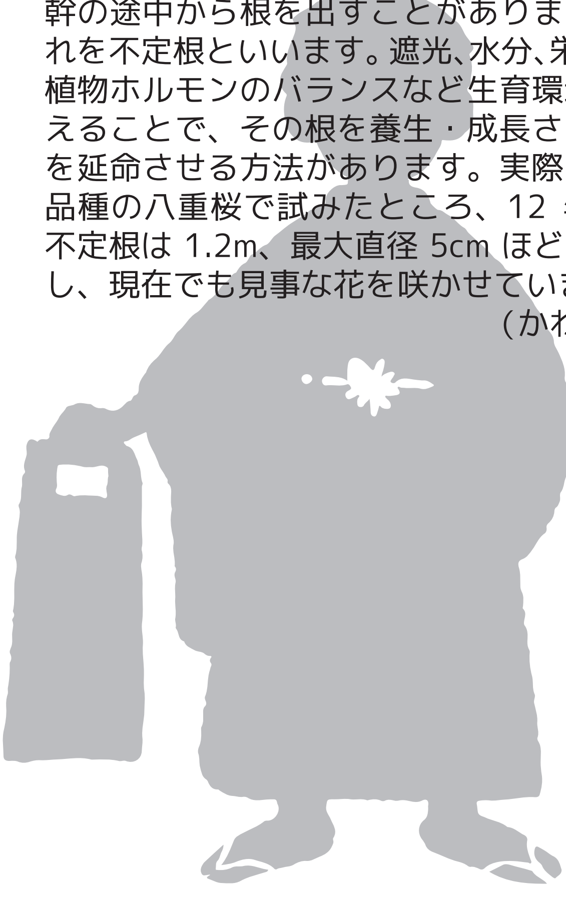
秋の庭でシュウメイギクの花をよく見かけます。中国と日本の本州、四国、九州に分布しますが日本原産ではなく古い時代に中国から渡来したという説が有力になっています。北海道では種子ができる前に寒くなるので雑草化するほどではありませんが、一度植えると株がよく殖えるたいへん丈夫な植物です。「秋明菊」とも書かれますがキクではなくアネモネのなかまで別名のキブネギク（ 貴船菊 ）は京都の貴船で多く見られたことに由来します。この貴船菊は濃いピンクの八重咲ですがシュウメイギクの花色は白とピンクが多くピンクには濃い色と淡い色があります。花型も一重、半八重、八重咲きもあります。最近ではほかのアネモネと交配した萼片（この仲間（アネモネ属）は、花びらに見えるものは花びらではなく、萼片が花弁状になったもので花弁は退化していてありません）の表が白、裏が青むらさきの品種もあります。高さもさまざまで、古い品種は背が高く1メートルほどの大きさになりますが、新しい品種では 50 ㎝くらいのものもあり植える場所に合わせて選べるようになりました。

（いとう）

## おもしろい根の植物（２）

普段は地中に根を出す植物にもかかわらず、幹が傷ついたり腐朽しはじめると、十分な栄養や水分を吸収できなくなるため、幹の途中から根を出すことがあります。これを不定根といいます。遮光、水分、栄養分、植物ホルモンのバランスなど生育環境を整えることで、その根を養生・成長させ本体を延命させる方法があります。実際にある品種の八重桜で試みたところ、12 年間で不定根は 1.2m、最大直径 5cm ほどに成長し、現在でも見事な花を咲かせています。

（かわはら）



## 今月の便り

## クレマチスに思いを寄せて

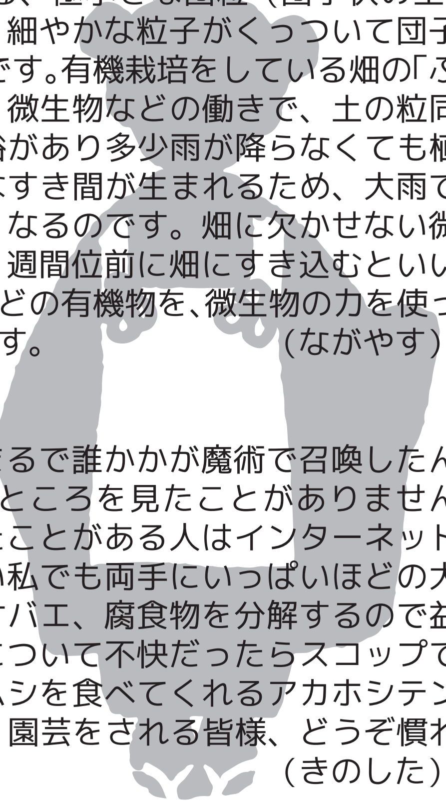
暑い日が続いたせいか？クレマチスが繰り返し咲いて嬉しかったとの報告も多く又一度咲いた枝の処理冬場に向かう管理の方法などの問い合わせも相談コーナで受けています。以前にもクレマチはテッセンと呼ばれていたことも書きましたが、改めて、バリエーション豊富なクレマチスの系統とお手入れ方法を書き留めます。15 の系統に別れ北海道では冬咲きと称される 2 品種は生育期間が豪雪と重なり無理です（ 色彩館温室では毎年開花 ）剪定方法は、強、弱とされて、新枝咲き、旧枝咲き、新旧両枝咲きと表記されています。買い求めた時の商品タグには、花期 、花茎、丈、花色など記載されているので、保管しておきましょう。冬場へ向かうお手入れ方法で重要なのは「枝を切るのか切らないのか」だけです。タグを見て覚えて来春のイメージを楽しみましょう

（たかはし）

*「今月の便り」 次ページへつづく⇒

## 元気な花や野菜を作るための土作り

花や野菜を作る畑で「良い土」とは、保水に富み、水はけ良く、通気が良いことが兼ね揃った土です。保水性を持った土と水はけの良い土とは矛盾しているようですが、実は有機栽培の畑は、土の団粒構造（ダンリュウ構造）がこれを可能にして保水・水はけ・通気を可能にしています。団粒構造とは、微生物の働きによって作られる、極小さな団粒（団子状の土）の集まりの構造を言います。微生物の排泄物や粘液により、細やかな粒子がくっついて団子状になった土が、保水･水はけ･通気を容易にしている良い土です。有機栽培をしている畑の「ふかふかの土」土こそ花や野菜に適した土と言えるでしょう。微生物などの働きで、土の粒同士がくっついた塊が多い土は、適度に水分を蓄えられる余裕があり多少雨が降らなくても植物は枯れにくくなります。さらに土の塊同士の間にも大きなすき間が生まれるため、大雨でも余計な水が流され、通気性も良く、植物の根が張りやすくなるのです。畑に欠かせない微生物は、堆肥の中に沢山宿っています。堆肥は植え付けの２週間位前に畑にすき込むといいでしょう。堆肥とは、稲わらや落ち葉、家畜ふん尿、食品残飯などの有機物を、微生物の力を使って分解させ成分的に安定化するまで腐熟させたものをいいます。（ながやす）

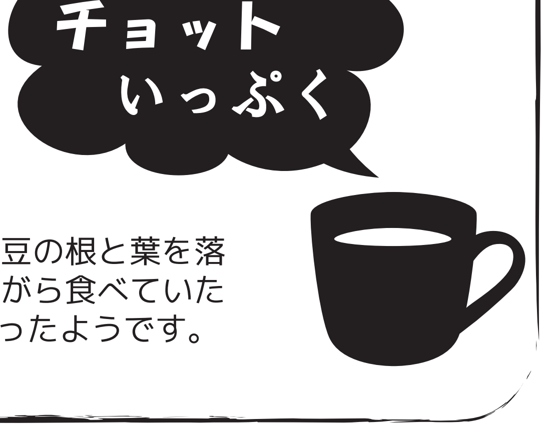


## ケバエの幼虫

秋に庭仕事をしている時、土の中からうじゃうじゃと、まるで誰かかが魔術で召喚したんじゃないかと思うほど何百匹も地味な幼虫が湧き出ているところを見たことがありませんか？それはケバエの幼虫かもしれません。気になる人、見たことがある人はインターネットで検索して画像を確認してみてください。虫が嫌いではない私でも両手にいっぱいほどの大群でうじゃうじゃされるとちょっとドキドキします。このケバエ、腐食物を分解するので益虫だとも言えるのですが、集団での迫力が凄いのです。目について不快だったらスコップですくって草堆肥にでも混ぜ込んでください。またカイガラムシを食べてくれるアカホシテントウムシの幼虫もものすごくグロテスクで怪獣のようです。園芸をされる皆様、どうぞ慣れてくださいとしか言いようがありません。（きのした）

### 大豆はなぜ畑の肉と言われるの？

大豆は、日本人にとって非常になじみ深い食品の一つです。大豆が栽培されてきた歴史はとても古く、縄文時代にはすでに農作物として栽培されていたと言われています。その長い歴史の中で､大豆をもとにしたさまざまな調味料や､加工品が作られています。｢きな粉｣｢納豆｣｢醤油｣｢味噌｣｢豆乳｣｢湯葉｣｢豆腐｣｢油揚｣｢がんもどき｣｢おから｣｢もやし｣等があります。大豆は「畑の肉」とも言われますが､それは「たんぱく質」が豊富で「炭水化物」「脂質」と並ぶ三大栄養素の一つである「たんぱく質」は、筋肉、骨、血液、皮膚や臓器のもととなる重要な 栄養素です。大豆に含まれるたんぱく質は、肉に比べると低カロリーで血中コレステロールを下げ、血管をしなやかにし、動脈硬化を予防します。また、血圧を下げる働きもあります。更に、大豆には「サポニン」が多く含まれていて、免疫機能をつかさどるリンパ球の 1 種であるナチュラルキラー細胞を活性化し、ウイルスや細菌から体を守ります。サポニンは免疫力をアップする働きがあるので、インフルエンザや風邪などひきにくくなります。この大豆、まだ青いうちに収穫し、茹でて「枝豆」として、よく口にしますが、なぜ枝豆と言うのでしょうか、大豆でもよさそうなものですが…実は、昔は大豆の根と葉を落として、枝ごと大釜に入れて茹で、枝から実を取りながら食べていたので、枝についている豆なので、枝豆と言うようになったようです。



文：田中　伸枝
（いわみざわ公園バラ園）

# 第八十七回

シュラブ ローズ

## ソレント®

Sorrento®

作出国：ドイツ
作出者：Noack
作出年：2000 年以前（2005 年発表）
ハーディネスゾーン：Z6
繰り返し咲き
交配：
Unnamed Seedlings × Rotfassade®（FICI）

　ソレントは、バラ園の一番初めの赤いバラばかりの花壇（私は密かに「おもてなしの赤」花壇と呼んでいます）の一員として植えています。この花壇、開花が早めの品種が多いのですが、ソレントは遅咲き。一番花のピークが過ぎようとする頃に満開を迎え、それから夏は少し休みがちにはなるものの、秋深くなるまで持ち前の連続開花性の強さでバラ園を盛り上げてくれています。樹高が低く、開花時期も遅く、みんなが大好きハイブリッド ティーのような大輪でもないため、見に来られた方から注目の的になるということはないようですが、混じり気のないミドルレッド、色の濃い照葉、セミダブルで小さめの中輪（5 ㎝ほど）をたくさんつける姿は非常に可愛らしく、見ていてとても気持ちのいいバラのひとつでお気に入りです。生育も良く、夏に葉を落としてボロボロになっている姿をあまり見たことがありません。2006 年に ADR 賞を受賞しており、耐病性もお墨付き。特別な手入れはほぼ必要ありません。乾燥に強く、耐陰性もありますので植え場所に悩むこともないでしょう。樹高・巾ともに 80 ㎝ほどと低く横に広がりますので、公園などでのグランドカバーとして植栽用向きですが、庭に下ろす前の最初の 1 シーズンはコンテナで一年草などと組み合わせて楽しんでも良いかもしれません。

　ソレントはフラワー カーペット スカーレット（Flower Carpet® Scarlet）という別名を持っています。同作出者 Noack Rosen による優秀なグランドカバーローズがフラワー カーペット シリーズとして流通しています。どれもソレントと同様の性質をもち、花形もほとんどが似たり寄ったりです。Flower Carpet® の後に White、Yellow、Pink、Amber など色名が付くのが定番です。まるで何かの戦隊ものみたいですね。なんだか強そうです。調べてみると、マイナーなものも数えて十数種類ありました。ソレントと同じようにみんな別名を持っているかというと、その点は品種によりまちまちです。ちなみにフランスでは DECOROSIERS® シリーズとして Kadora（=Scarlet）、Mareva（=Apple Blossom）、Calizia（=Amber）など独自の名前で展開しています。同じ花形・色のバラを何品種も買う方はあまりいないと思いますが、名前が違うからといって知らず知らずのうちに同じバラを買ってしまわないよう注意しましょう。このシリーズ、当園では他にアルカンタラ（Red Velvet）、アップルブロッサムを見ることができます。

## 今月の市民園芸講座のご案内

**●11 月 14 日（日）　13:00~15:00　多肉植物の寄せ植えをしよう**
料金：2,000 円　定員：18 名　講師：椿 豊さん　Green Art 百々屋

**●11 月 23 日（火祝）・28 日（日）　13:00~15:00**
**ローズヒップでクリスマスリースをつくろう**
料金：1,000 円　定員：10 名　講師：バラ園スタッフ

**●12 月 11 日（土）　13:00~15:00　折り紙でバラをつくろう　初級**
料金：無料　定員：15 名　講師：バラ園スタッフ

**●12 月 26 日（日）　10:00~12:00　新春を迎える華やかアレンジメント**
料金：3,000 円（容器込み）　定員：18 名
講師：秋元 千秋さん　フラワーデザイナー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話 :0126-25-6111　ホームページ :http://www.iwamizawa-park.com/
※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日３～４日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

**×　マスクの着用がない方**
**×　37.0℃以上の熱がある方**

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

・定員制限を設けているため、すぐに定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席はお申込みをされたい他の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
・換気の為、２方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。

編集・発行　空知リゾートシティ株式会社 ( いわみざわ公園バラ園指定管理者 )
お問合わせ　いわみざわ公園バラ園　室内公園「色彩館」 0126-25-6111